

# K-RELEASE VOL.217

静岡県企業局

- 電話 054-221-2153
  - F A X 054-251-5381
- 発行 令和4年6月27日

## 企業局の取組紹介 ～災害対策～

先月、愛知県豊田市で起きた取水施設の大規模漏水や、静岡県菊川市で起きた水道管の破裂による断水など、地域産業を支える水道インフラの重要性が改めて注目されています。

企業局では、想定される南海トラフ巨大地震や近年多発する風水害等に備え、浄水場施設等の強靱化によるハード対策や、早期復旧や復旧状況の見える化を目的としたソフト対策に取り組んでいます。

企業局の災害対策の取組のうち今回は、「災害時管路情報システム」、「日本水道鋼管協会との災害協定の締結」、「企業局職員危機管理研修」の3点について、紹介します。

### 1 災害時管路情報システム

静岡県企業局では、GIS（静岡県地理情報システム）を活用し、断水時に事故等発生場所や復旧見込みを地図上に示すことで、工業用水ユーザー様や受水市町のみなさまにオンラインで情報を提供しています。（平成29年4月から運用）

※災害時管路情報システムのイメージ

**1** 断水中かな...  
と思ったら、下記にアクセス  
<https://shizuoka.jp/...>  
もしくは以下バーコードリーダーからログイン画面にアクセス

QRコード

IDとパスワードを入れて、OK

**2** 企業局災害時管路情報システムに飛びます。  
断水情報をスマホやパソコンで確認できます。  
管路図面  
漏水箇所  
断水区間  
コメント  
地図上で断水情報が確認できます。

**3** 復旧見通しなども確認できます。  
漏水箇所をクリックすると  
作業状況  
作業中  
復旧見通し  
2017年3月2日15:00頃復旧予定  
関連機関との調整  
済  
状況写真  
詳細な情報が表示されます  
3月2日の午後に復旧するんだな...

## 2 日本水道鋼管協会との災害協定締結

非常事態における備えが更に強化！



静岡県企業局はこれまでに、災害又は事故における迅速な復旧を目的として、55 団体等と独自の災害協定を締結しており、令和 4 年 1 月 11 日には地方自治体等では全国初となる、独立行政法人水資源機構と災害協定を締結しました。

更に、今般 5 月 17 日、日本水道鋼管協会と資機材の供給や技術指導等に関する災害協定を締結しました。

日本水道鋼管協会が地方自治体等と締結した災害協定としては、全国で5例目！

### 協定締結の概要

締結日：令和 4 年 5 月 17 日（火）

締結者：静岡県公営企業管理者企業局長 小野田 裕之  
日本水道鋼管協会会長 四方 敦夫



内 容：日本水道鋼管協会が保有する鋼管資材について災害又は事故時の迅速な融通、及び応急復旧工事における技術指導などの支援を受けることができます。

効 果：企業局の自前備蓄が手薄な鋼管資材について、非常時における迅速な調達と、特殊な接合技術の指導により早期復旧工事が可能となります。

※ 日本水道鋼管協会とは

水道用鋼管に関する技術開発、研究、規格の制定や技術セミナー開催等の活動を担っているメーカーの団体で、全国 61 社、2 団体が会員となっています。

管路の地震被害例



管路被害の復旧



管路損傷の補修



### 3 企業局職員危機管理研修

企業局では、安全で安心な水を安定的に給水するため、危機管理研修を実施しています。漏水事故や施設事故・自然災害などに備えた研修を全職員に義務づけており、突発的な事象への迅速な対応に万全を期すべく取り組んでいます。

今年度は、5月16日に西部事務所、18日に東部事務所を会場として開催し、職員28名が参加しました。

#### 危機管理初動対応研修

企業局における災害時の参集体制や企業局事業継続計画（BCP）、初動対応の個別業務内容についての他、漏水や事故報告の迅速化を徹底することなどについて研修を行いました。



#### 機器の操作説明

防災無線（衛星携帯及び地上無線）の操作説明、災害時管路情報システム（GIS）の概要及び操作について研修を行いました。また、実際に無線機の操作を行い、操作に慣れる研修も行いました。



#### 漏水時における水質検査

漏水判定時における残留塩素測定の注意点などについての研修や、測定器を使用した実習を行ったほか、浄水処理に使用する工業薬品、濁度の測定方法、水質分析した事例などについて研修を行いました。



今後も災害対策に取り組み、災害や事故等に迅速に対応できるように備えることで、安全・安心な水の安定供給に努めます。

## 水道事業の業務状況(令和4年5月25日現在)

5月の使用水量は、前年度同期比で、駿豆水道は96.8%、榛南水道は98.0%と減少し、遠州水道は100.6%と増加し、全体では99.9%となっています。

(単位:千m<sup>3</sup>、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			5月分	累計	5月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	3,000	6,100	825	1,667	27.3
	前年度同期	100	3,000	6,100	852	1,728	28.3
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	96.8	96.5	
榛南	当該年度	27	810	1,647	430	870	52.8
	前年度同期	27	810	1,647	439	893	54.2
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	98.0	97.4	
遠州	当該年度	292	8,763	17,818	4,856	9,980	56.0
	前年度同期	292	8,763	17,818	4,827	10,045	56.4
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	100.6	99.4	
合計	当該年度	419	12,573	25,565	6,111	12,517	49.0
	前年度同期	419	12,573	25,565	6,118	12,666	49.5
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	99.9	98.8	

## 工業用水道事業の業務状況(令和4年5月25日現在)

5月の使用水量は、前年度同期比で静清工水は103.9%と増加し、柿田川工水は98.7%、ふじさん工水(富士川)は96.8%、ふじさん工水(東駿河湾)は94.8%、中遠工水は90.6%、西遠工水は96.7%、湖西工水は97.8%と減少し、全体では96.5%となっています。

(単位:千m<sup>3</sup>、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			5月分	累計	5月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	3,000	6,100	2,863	5,815	95.3
	前年度同期	100	3,000	6,100	2,901	5,857	96.0
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	98.7	99.3	
ふじさん (富士川)	当該年度	25	744	1,513	595	1,249	82.6
	前年度同期	27	818	1,663	615	1,277	76.8
	前年度同期比	90.9	90.9	90.9	96.8	97.9	
ふじさん (東駿河湾)	当該年度	302	9,027	18,344	6,885	14,412	78.6
	前年度同期	362	10,872	22,107	7,261	14,997	67.8
	前年度同期比	83.3	83.0	83.0	94.8	96.1	
静清	当該年度	51	1,541	3,085	1,046	2,147	69.6
	前年度同期	52	1,549	3,102	1,006	2,132	68.7
	前年度同期比	99.5	99.5	99.4	103.9	100.7	
中遠	当該年度	34	1,017	2,069	327	735	35.5
	前年度同期	34	1,021	2,075	361	813	39.2
	前年度同期比	99.7	99.7	99.7	90.6	90.3	
西遠	当該年度	30	901	1,791	543	1,163	64.9
	前年度同期	30	901	1,792	561	1,174	65.5
	前年度同期比	100.5	100.0	100.0	96.7	99.1	
湖西	当該年度	17	496	993	266	560	56.4
	前年度同期	17	496	993	272	572	57.6
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	97.8	98.0	
合計	当該年度	559	16,726	33,895	12,525	26,081	76.9
	前年度同期	622	18,657	37,832	12,977	26,822	70.9
	前年度同期比	89.8	89.6	89.6	96.5	97.2	